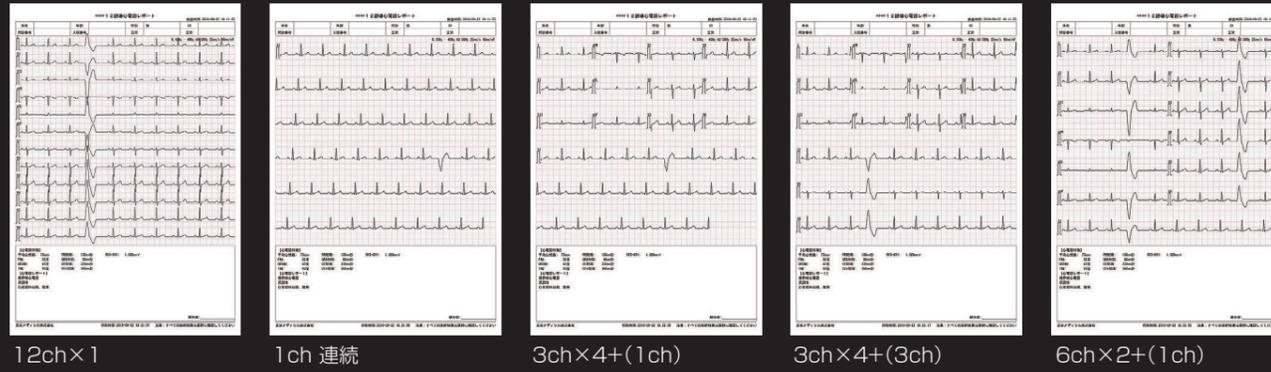


心電図の印刷は、お手持ちのプリンターでOK! 専用記録紙が不要です。



ソフトウェア会社が
心電計を作ったら
こうなりました

ハートにつながる



ECG Explorer 500X1/X2

販売名: 多機能心電計 PC-ECG シリーズ
 医療機器認証番号: 225AABZX00023000
 一般的名称: 多機能心電計
 管理医療機器 特定保守管理医療機器
 製造販売業者: 三栄メディシス株式会社

■ 構成	
本体	1セット
標準付属品	500X1 USB接続ケーブル・インストールCD-ROM他
	500X2 USB接続ケーブル・インストールCD-ROM他

■ 動作環境	
対応OS	Windows 10, Windows 11
CPU	Pentium/Celeron 1.2GHz以上・RAM 8GB以上
ハードディスク	40GB以上
ドライブ	CD-ROMドライブ
入力ポート	USB(Type-A)
画面解像度	1024×768px以上

※ USB接続でのご使用の場合は安全規格上、ノートパソコンでのご使用を推奨しています。但し、アイソレーション電源を使用すれば、デスクトップパソコンでの使用が可能です。
 ※ Windowsタブレットパソコンなどのmicro-USBポートからUSB(タイプA)に変換してのご使用はできません。

■ 仕様	
入力部	
被検者入力数	1
誘導	標準12誘導
フィルタ	交流(50/60Hz)・筋電(20Hz/30Hz/40Hz)・ドリフト(0.16Hz/0.32Hz/0.67Hz)
感度	5・10・20mm/mV
時定数	3.2秒以上
サンプリングレート	500ポイント/秒(心電図波形) 10000ポイント/秒(ペースメーカー認識)
入力保護回路	ディフビリレータ保護回路付き
記録	12ch×1(縦向き/横向き) 1誘導の連続波形(縦向き/横向き) 3ch×4+1リズム誘導(縦向き/横向き) 3ch×4+3リズム誘導(縦向き/横向き) 6ch×2+1リズム誘導(縦向き/横向き) 詳細計測値(縦向き/横向き)
表示	12ch×1/6ch×2 メジャー機能・速度/感度変更・誘導切り替え・アベレージ波形拡大表示・詳細計測値+解析結果・解析結果オーバーリード
保存	保存データ 被検者情報・心電図波形・解析結果
装置規格	
認可	IEC60601-1・EN60601-1-2・IEC60601-2-25・EN60601-2-51
安全性	クラスII(管理医療機器)BF型
特定保守管理医療機器	
製造国	(China) Shenzhen ECGMAC Medical Electronics Co., Ltd.

※ Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、三栄メディシス株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

■ 商品の詳しい内容は、下記サイトをご参照下さい。
 ECG-Explorer 500X オフィシャルサイト <https://www.pc-ecg.com/>
 三栄メディシスサイト <https://www.san-ei.com/>



■ 商品のお問い合わせ フリーダイヤル 0120-075-099 Eメール info@pc-ecg.com
 三栄メディシス株式会社
 〒607-8116 京都市山科区小山鎮守町14番地1 TEL(075)502-0066 FAX(075)502-0068



カタログ掲載内容2023年1月

標準12誘導解析機能付心電計
ECG Explorer 500X1

ワイヤレス解析機能付心電計
ECG Explorer 500X2



多機能心電計 PC-ECG シリーズ

ECG Explorer 500X1/X2

心電計は新しい時代へ! パソコン使用で カンタン操作!



「Windows」でも「Mac」でもお使いいただけます。
また、「RS_Base」や各社電子カルテと連動可能。

※1 「VMWare Fusion」や「Parallels Desktop for Mac」などの、仮想化テクノロジーを使用し、Windows OS をひとつの仮想マシンとして Mac OS と同時に稼働させる方法です。

※2 各社レセプトシステム、電子カルテ等で入力された患者様情報を ECG Explorer 500X1 / X2 に取り込みます。電子カルテ連動状況はお問い合わせください。

多彩な表示画面選択



気分によって、季節によって、心電図を見る場所の明るさによって、診療科によってなど、メーカーのお仕着せの決まった色だけを選ぶのはつまらないものです。お好みの色に自由に変更ができます。

Bluetooth®によるコードレス化を実現 (500X2)

パソコンとの接続用ケーブルが不要なので、診療スペースを有効に活用できます。
また、デスクトップパソコンとの接続が可能となりました。



※Bluetooth® 接続は付属の USB Bluetooth® アダプタをご使用ください。

四肢電極 胸部電極



四肢と胸部電極は、波形が安定良くキレイにとれる「塩化銀電極」を採用しました。

特徴1 「塩化銀電極」は大幅にインピーダンスを軽減し、キレイな波形をとることができます。

特徴2 四肢電極は4色で、電極付け間違えの防止に役立ちます。

注意：金属部分の黒色はサビではありません。金属磨き等で磨かないでください。効果が失われます。



検査モードは2パターン

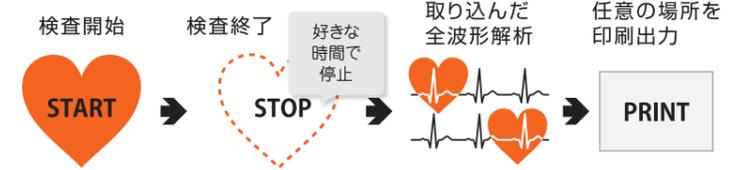
自動検査モード

パソコンのF1ボタンを押すだけで、検査開始から印刷までを自動で行います。



手動検査モード

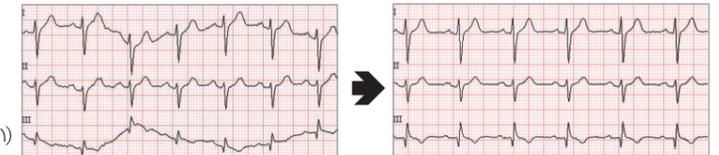
取り込んだ全波形の解析ができ、任意の場所が印刷可能です。



フィルター設定

ドリフトフィルタについて

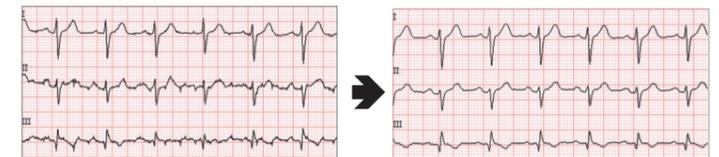
心電図波形の基線の揺れを補正します。
3種類のフィルタを用意しました。
0.16Hz(やや弱い)→0.32Hz(弱い)→0.67Hz(強い)



筋電フィルタについて

(ローパスフィルタ)

筋電によるノイズなどを取り除きます。
20Hz(強)、30Hz(中)、40Hz(弱)の3種類を用意しました。



各社電子カルテとの被検者情報取得連携・ビューア連携が可能

診察室で心電図データを参照、過去と比較・印刷などができます。
また、電子カルテから被検者情報を ECG Explorer500X1/X2に取り込みます。



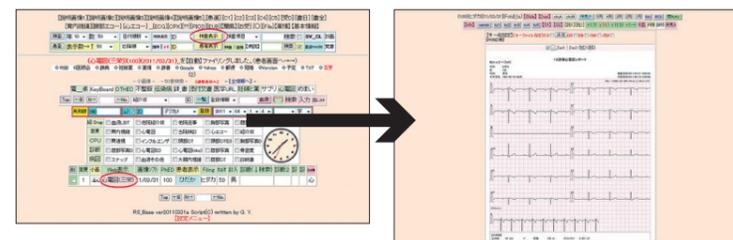
* 連携仕様や対応メーカーはお問い合わせください。
* 別途オプションソフトが必要です。価格はお問い合わせください。



RS_Base 自動ファイリング取込

心電図検査終了後、自動(手動)でJPEGファイルの出力後、自動でRS_Baseに取り込まれます。

- 手順1 ECG Explorer 500X1 / X2の設定にて心電図検査(JPEG)ファイルの出力先を指定します。
- 手順2 検査終了後、WEB表示に「心電図(三栄)」と表示されます。
- 手順3 「心電図(三栄)」をクリック。検査結果が表示されます。



*RS_Baseの詳細は <http://rsbase.jp/> を参照ください。



安心のサポート

5年間保証

納品から安心の5年間保証(アンプ部分に限ります)誘導ケーブルおよびUSBケーブルは消耗品となり保証対象外となりますが、納品後1年間は無償にて保守をいたします。万一故障した場合も代替機にて対応をいたします。

Webによるサポート

メールによるお問い合わせにお応えします。

Webサイト
<https://www.pc-ecg.com/>
E-mail: info@pc-ecg.com